

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	職員全員が、理念を理解できておらず、理念に基づいたサービス提供は出来ていない。	職員全員が、理念を理解し理念に基づいたケアを提供できるようになる。	ミーティングで「理念」について学習し、職員全員が理解できるようにする。 「理念」の理解を深め、利用者のケアを考える時に理念を基にした計画が立てられる。 日々の生活の援助に「理念」の精神が反映される。	10 か月	
2	26	本人・家族が望む生き方を介護計画に取り込んでいける努力が更に必要である。	本人・家族の意見や希望を言える機会を作る。 本人・家族から得られる情報を介護計画に取り組み、日々のケアに生かす。	本人、家族との話し合いの機会を更に作り、意見や希望等の情報を取得する。 情報を介護計画、日々のケアに反映できる。 (ミーティング、家族との話し合い等)	10 か月	
3	23	職員と利用者さんが関われる時間を増やし、本人の望む生き方を感じていく必要がある。	利用者さんと「ゆっくりと過ごす」時間を確保していけるよう業務の改善 利用者さんから得られる情報をケアに生かす。	利用者さんが望んでいる生活の情報を取得する。 情報をケアに反映できる。(ミーティング、家族との話し合い等)	10 か月	
4	20	馴染みの場を大切にできるように支援する	利用者の大切にしている「馴染みの生活」を理解する。 馴染みの生活を大切にしたいケアが提供できるよう、利用者・家人・職員との連携を深める。	家族からの意見を表現できる場所を作る。(運営推進会議、家族会、行事等) 本人・家族からの情報をケアに反映できる。(ミーティング、家族との話し合い等)	10 か月	
5	52	居心地良く過ごせる環境整備する努力が必要である。	生活をしている場としての環境を心掛ける	季節感を得られるような工夫 家人等が面会に来やすい環境を作る。	10 か月	
6	10	家族が意見や希望を表現しやすい環境を作る努力が必要がある。	家族が意見や希望を言える機会を作る。 家族からの意見に取り組み、反映させていけるシステムを作る。	事業所の取り組みについて、ご家族にお知らせをし、家族が利用者の普段の生活を知ることが出来る工夫をする。 家族からの意見をケアに反映できる。(ミーティング、家族との話し合い等)	10 か月	
7	4	家族も含めた運営推進会議の取り組み・活用が出来ていない。	定期的な会議の開催を計画し、現在の事業所の考え方や活動の内容を知ってもらう。 利用者、家族、地域からの意見・情報を取得していく。	運営推進会議や家族会、家族・地域の方参加型の行事を定期定期に行う。 会議が定期的に行われていることを周知し、参加のお願いを継続して行う。 現在取り組んでいる事業所の「考え方や活動」についてお知らせし、今後の取り組みについての意見を現場にフィードバックできるようにする。	10 か月	
8	2	「利用者が地域とつながりながら暮らしていけるよう、取り組みを新たに始めたばかりである。今後定着していけるような工夫が必要である。	利用者・施設が地域との継続的な感懐を深め、「ちょっと立ち寄り施設」を目指す。	「まもるくんの家」に申請し、校区内の安全を守る場所になれる。 地域の方や子供たちが立ち寄りやすい環境を作る。	10 か月	

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( 該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他( )
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他( )